

新病院整備事業について

全員協議会 資料

平成28年1月8日

桑名市

桑名市総合医療センター

1. 新病院整備事業の見直しについて

2. 新病院整備事業の見直しのポイント

- ・ 医療機器の仕様検討及び品目精査
- ・ 医療機器の仕様決定や不確定であった医療系設備の確定等による工事内容の決定

3. 新病院整備事業費の見直し

- ・ 内容別内訳
- ・ 財源別内訳
- ・ 市 実質負担分
- ・ 債務負担行為

4. 収支に関する試算等

- ・ 償還計画
- ・ 収支に関する試算
- ・ 収支試算のマイナス期間に対する取り組み

1. 新病院整備事業の見直しについて

- 今年度、新病院整備事業においては、
 - ① 平成27年6月臨時会において、新棟新築工事に関する事業費を増額。
 - ② 平成27年8月、新棟新築工事の契約を締結し、10月の起工式により工事を着工。
 - ③ 新棟新築工事と並行して、新病院を整備するうえで極めて重要な要素である医療機器の仕様及び機器の精査を行ってきた。
併せて、不確定であった医療系設備等の検討を行ってきた。



- 平成30年4月開院のために必要な事業費が全て確定したことに伴う協議が必要。
 - ① 医療機器の仕様検討及び品目精査
 - ② 医療機器の仕様決定や不確定であった医療系設備の確定等による工事内容の決定

2. 新病院整備事業の見直しのポイント(1) ～ 医療機器の仕様検討及び品目精査①～

1. 地域医療再生計画時予算(13億円)の再検討

- 平成23年2月、「地域医療再生基金(平成22年度拡充分)」を申請した当初、医療機器整備費は、13億円を見積り。
総合医療センター基本構想・基本計画に基づき、総合医療センターにおいて、検査、診療等に使用する医療機器の仕様及び品目を精査。
新病院で使用する医療機器の精査により増額が必要。

2. 医療機器整備費等の増額

- 新病院が担う医療機能を実施するために必要な医療機器は、設備工事に影響するような大型医療機器を含めて増額が必要。

13億円 ^{1170の時点で未定額を0円?} + 10.0億円 ^{その後の増であらう、その後の13億円?} → 23.0億円(消費税含む)

2. 新病院整備事業の見直しのポイント(1) ～ 医療機器の仕様検討及び品目精査②～

1. 地域医療再生計画策定時

- ・CT
- ・MRI
- ・血管造影装置(アンギオ)
17年、15年 → 10年
- ・超音波画像診断装置
- ・放射線治療装置(リニアック)
- ・マンモグラフィ撮影装置
- ・X線一般撮影装置(レントゲン)



2. 現在、導入(予定)医療機器

- ・CT
- ・MRI
- ・血管造影装置(アンギオ)
- ・超音波画像診断装置
- ・放射線治療装置(リニアック)
- ・マンモグラフィ撮影装置
- ・X線一般撮影装置(レントゲン)
- ・X線TV装置
- ・核医学検査装置(SPECT)
- ・NICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児治療回復室)
- 関連機器? ・検査分析装置
- ・透析装置 → 開院か遅い全交換になる。
- ・生体情報モニター、セントラルモニターなど

役割分担
急性期病院の役割は?

装置の入れ替えの計画はある?

2. 新病院整備事業の見直しのポイント(2)

～ 医療機器の仕様決定や
不確定であった医療系設備の
確定等による工事内容の決定～

- 医療機器の仕様決定や不確定であった医療系設備の確定等による工事内容の決定。



- 不確定であった医療系設備の工事内容が決定したため工事費の増額が必要。

- ①放射線治療装置等シールド工事
- ②医ガス設備工事
- ③RI排水設備(放射線使用施設専用排水設備)工事
- ④情報ネットワーク系システム構築
- ⑤手術室工事
- ⑥厨房、検査室冷蔵設備工事
- ⑦気送管システム(シューター)工事
- ⑧外構工事

146. 0億円 — **+16. 0億円** → 162. 0億円 (消費税含む)

旧年 → 1週間
● 5/25 9:00
変更23.

3. 新病院整備事業費の見直し(1) ～ 内容別内訳 ～

199.4億円 — **+26.0億円** → 225.4億円

総合医療のター
線事業費は?

(単位:億円)

	見直し前 (H27.6)	見直し分	見直し後 (H28.1)
民間病院買取費 (注1)	22.2	—	22.2
用地取得費 (注2)	6.6	—	6.6
備品購入費	5.3	—	5.3
移転費	0.5	—	0.5
医療機器整備費	13.0	10.0	23.0
電子カルテ整備費	2.0	—	2.0

	見直し前 (H27.6)	見直し分	見直し後 (H28.1)
工事費	146.0	16.0	162.0
新築	129.2	14.8	144.0
改修	6.0	—	6.0
消費税	10.8	1.2	12.0
実施設計費	2.3	—	2.3
施工監理費	1.0	—	1.0
その他	0.5	—	0.5

(注1) 民間病院買取費は、職員用の立体駐車場の建設に係る保証金(1.0億円)を除く。

(注2) 用地取得費は、建物補償費(1.0億円)、営業補償費(0.1億円)、テナント解約費(0.0億円)、境界調査費(0.0億円)及び土地譲渡費用(0.6億円)を除く。

※ 端数調整(四捨五入)のため、合計、差し引きが表示と合わない場合があります。

3. 新病院整備事業費の見直し(2) ～ 財源別内訳 ～

- 新病院整備事業費の見直しに伴う予算の補正分については、次のとおり、財源を措置。
 - ① 4分の1:市によって償還される「合併特例事業債」
 - ② 4分の3:総合医療センターによって償還される「病院事業債」
- そのうち、「合併特例事業債」については、元利償還金の70%が後年度の普通交付税の基準財政需要額に算定される仕組み。

(単位:億円)

	見直し前(H27.6)	見直し分	見直し後(H28.1)
国負担分(地域医療再生臨時特例交付金)	30.3	—	30.3
市負担分	44.7	6.5	51.2
合併特例事業債	39.0	6.5	45.5
一般財源(負担分)	5.7	—	5.7
総合医療センター負担分	124.5	19.5	144.0
病院事業債	116.9	19.5	136.4
一般財源(貸付分)	7.5	—	7.5
合計	199.4	26.0	225.4

(注) 各計数は、職員用の立体駐車場の建設に係る保証金(1.0億円)並びに建物補償費(1.0億円)、営業補償費(0.1億円)、テナント解約費(0.0億円)、境界調査費(0.0億円)及び土地譲渡費用(0.6億円)を除く。

※ 端数調整(四捨五入)のため、合計、差し引きが表示と合わない場合があります。

3. 新病院整備事業費の見直し(3) ～ 市 実質負担分 ～

見直し前(H27.6)
新病院整備事業費199.4億円

見直し後(H28.1)
新病院整備事業費225.4億円

実質的な、
市の負担分は、17.4億円。
内訳
・合併特例事業債は、
11.7億円。
(普通交付税に算定される
基準財政需要額分は除く)
・一般財源(負担分)は、
5.7億円。

+1.9億円

実質的な、
市の負担分は、19.3億円。
内訳
・合併特例事業債は、
13.6億円。
(普通交付税に算定される
基準財政需要額分は除く)
・一般財源(負担分)は、
5.7億円。

3. 新病院整備事業費の見直し(4) ～ 債務負担行為 ～

(現在の債務負担行為の設定額)

(単位:千円)

年割額	事業内容	財源内訳			
		県支出金 (基金)	合併特例事業債	病院事業債	一般財源貸付分
27年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 ・電子カルテ導入費 等	676,980	176,600	530,000	160
28年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 等	672,053	880,200	2,640,800	149
29年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 等	698,944	2,174,400	6,523,000	577,740
30年度	・新病院施設整備費 等		172,500	517,500	122
合計		2,047,977	3,403,700	10,211,300	578,171



(見直し後の債務負担行為の設定額)

(単位:千円)

年割額	事業内容	財源内訳			
		県支出金 (基金)	合併特例事業債	病院事業債	一般財源貸付分
27年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 ・電子カルテ導入費 等	676,980	176,600	530,000	160
28年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 等	672,053	● 941,400	● 2,824,400	157
29年度	・新病院施設整備費 ・医療機器整備費 等	698,944	● 2,763,200	● 8,289,400	577,732
30年度	・新病院施設整備費 等		172,500	517,500	122
合計		2,047,977	4,053,700	12,161,300	578,171

4- (1) 新病院整備事業費に係る合併特例事業債の 償還計画(機械的な試算)

【試算の前提】

- 施設整備に係る合併特例事業債については、5年据え置き、25年で償還。
 年利1.8%で試算。
 (参考:平成27年12月末の地方公共団体金融機構による同条件での貸付年利は1.10%)
- 設備整備に係る合併特例事業債については、1年据え置き、4年で償還。
 年利0.5%で試算。(参考:同0.10%)

(単位:億円)

年度	償還額(変更前)			償還額(変更後)			増減額		
	元金	利息	元利	元金	利息	元利	元金	利息	元利
H26	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
H27	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
H28	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0
H29	0.5	0.3	0.8	0.5	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0
H30	0.7	0.6	1.3	0.7	0.7	1.4	0.0	0.1	0.1
H31	0.6	0.7	1.2	1.2	0.7	1.9	0.6	0.1	0.7
H32	0.5	0.6	1.1	1.1	0.7	1.9	0.6	0.1	0.7
H33	0.4	0.6	1.0	1.0	0.7	1.8	0.6	0.1	0.7
H34	0.7	0.6	1.4	1.3	0.7	2.0	0.6	0.1	0.6
H35	1.2	0.6	1.9	1.4	0.7	2.0	0.1	0.1	0.2
H36	1.3	0.6	1.9	1.4	0.7	2.1	0.1	0.1	0.2
H37	1.3	0.6	1.9	1.5	0.6	2.1	0.1	0.1	0.2
H38	1.4	0.6	1.9	1.5	0.6	2.1	0.1	0.1	0.2
H39	1.4	0.5	1.9	1.5	0.6	2.1	0.1	0.1	0.2
H40	1.4	0.5	1.9	1.5	0.6	2.1	0.1	0.1	0.2
H41	1.4	0.5	1.9	1.5	0.5	2.1	0.1	0.1	0.2
H42	1.4	0.5	1.8	1.5	0.5	2.1	0.1	0.1	0.2
H43	1.4	0.4	1.8	1.6	0.5	2.1	0.1	0.1	0.2
H44	1.4	0.4	1.8	1.6	0.5	2.1	0.1	0.1	0.2
H45	1.5	0.4	1.8	1.6	0.4	2.1	0.2	0.0	0.2

(単位:億円)

年度	償還額(変更前)			償還額(変更後)			増減額		
	元金	利息	元利	元金	利息	元利	元金	利息	元利
H46	1.4	0.4	1.7	1.5	0.4	1.9	0.2	0.0	0.2
H47	1.4	0.3	1.7	1.5	0.4	1.9	0.2	0.0	0.2
H48	1.4	0.3	1.7	1.6	0.3	1.9	0.2	0.0	0.2
H49	1.4	0.3	1.7	1.6	0.3	1.9	0.2	0.0	0.2
H50	1.5	0.3	1.7	1.6	0.3	1.9	0.2	0.0	0.2
H51	1.5	0.2	1.7	1.7	0.3	1.9	0.2	0.0	0.2
H52	1.5	0.2	1.7	1.7	0.2	1.9	0.2	0.0	0.2
H53	1.5	0.2	1.7	1.7	0.2	1.9	0.2	0.0	0.2
H54	1.6	0.2	1.7	1.7	0.2	1.9	0.2	0.0	0.2
H55	1.5	0.1	1.6	1.7	0.1	1.8	0.2	0.0	0.2
H56	1.5	0.1	1.6	1.7	0.1	1.8	0.2	0.0	0.2
H57	1.6	0.1	1.6	1.8	0.1	1.8	0.2	0.0	0.2
H58	1.6	0.0	1.6	1.7	0.0	1.8	0.2	0.0	0.2
H59	1.0	0.0	1.0	1.3	0.0	1.3	0.3	0.0	0.3
H60	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
H61	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H62	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	39.3	11.9	51.3	45.9	13.3	59.2	6.5	1.4	7.9

※ 端数調整(四捨五入)のため、合計、差し引きが表示と
合わない場合があります。

4-(2) 新病院整備事業費に係る病院事業債及び 一般財源(貸付分)の償還計画(機械的な試算)

【試算の前提】

- 施設整備に係る病院事業債及び一般財源(貸付分)については、5年据え置き、25年で償還。病院事業債に関しては^{1.5~1.6%}年利1.8%、一般財源(貸付分)に関しては無利息で試算。
(参考:平成27年12月末の地方公共団体金融機構による同条件での貸付年利は1.10%)
- 設備整備に係る病院事業債については、1年据え置き、4年で償還。年利0.5%を試算。
(参考:同0.10%)

(単位:億円)

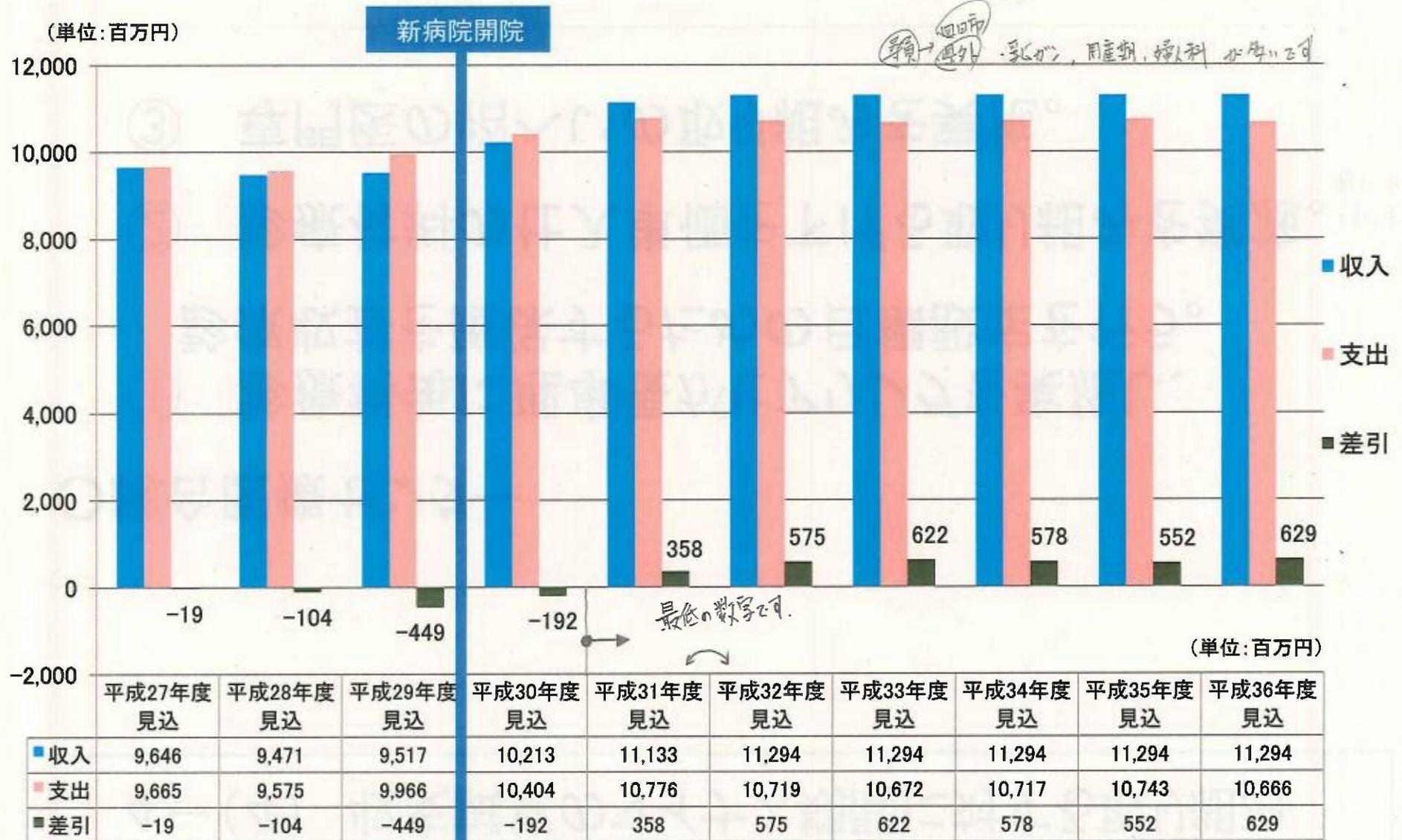
年度	償還額(変更前)			償還額(変更後)			増減額		
	元金	利息	元利	元金	利息	元利	元金	利息	元利
H26	0.9	0.2	1.1	0.9	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0
H27	1.5	0.2	1.7	1.5	0.2	1.7	0.0	0.0	0.0
H28	1.3	0.2	1.6	1.3	0.3	1.6	0.0	0.0	0.0
H29	2.3	0.9	3.2	2.3	0.8	3.1	0.0	-0.1	-0.1
H30	2.7	1.9	4.5	2.7	2.1	4.8	0.0	0.2	0.2
H31	2.4	2.0	4.4	4.3	2.2	6.5	1.9	0.3	2.1
H32	2.1	1.9	4.0	3.9	2.2	6.1	1.9	0.2	2.1
H33	1.6	1.9	3.5	3.5	2.2	5.7	1.9	0.2	2.2
H34	2.3	1.9	4.2	4.0	2.1	6.1	1.7	0.2	1.9
H35	4.0	1.9	5.8	4.3	2.1	6.4	0.4	0.2	0.6
H36	4.2	1.8	6.0	4.6	2.0	6.6	0.4	0.2	0.6
H37	4.3	1.7	6.0	4.7	1.9	6.6	0.4	0.2	0.6
H38	4.3	1.7	6.0	4.7	1.9	6.6	0.4	0.2	0.6
H39	4.4	1.6	6.0	4.8	1.8	6.6	0.4	0.2	0.6
H40	4.5	1.5	6.0	4.9	1.7	6.6	0.4	0.2	0.6
H41	4.5	1.5	5.9	4.9	1.6	6.5	0.4	0.2	0.6
H42	4.4	1.4	5.8	4.9	1.5	6.4	0.4	0.2	0.6
H43	4.5	1.3	5.8	4.9	1.5	6.4	0.4	0.2	0.6
H44	4.6	1.2	5.8	5.0	1.4	6.4	0.4	0.2	0.6
H45	4.7	1.2	5.8	5.1	1.3	6.4	0.5	0.1	0.6

(単位:億円)

年度	償還額(変更前)			償還額(変更後)			増減額		
	元金	利息	元利	元金	利息	元利	元金	利息	元利
H46	4.3	1.1	5.4	4.8	1.2	6.0	0.5	0.1	0.6
H47	4.4	1.0	5.4	4.9	1.1	6.0	0.5	0.1	0.6
H48	4.5	0.9	5.4	5.0	1.0	6.0	0.5	0.1	0.6
H49	4.6	0.9	5.4	5.0	1.0	6.0	0.5	0.1	0.6
H50	4.6	0.8	5.4	5.1	0.9	6.0	0.5	0.1	0.6
H51	4.7	0.7	5.4	5.2	0.8	6.0	0.5	0.1	0.6
H52	4.8	0.6	5.4	5.3	0.7	6.0	0.5	0.1	0.6
H53	4.9	0.5	5.4	5.4	0.6	6.0	0.5	0.1	0.6
H54	4.9	0.5	5.4	5.5	0.5	6.0	0.5	0.1	0.6
H55	4.8	0.4	5.2	5.3	0.4	5.8	0.5	0.1	0.6
H56	4.9	0.3	5.2	5.4	0.3	5.8	0.6	0.0	0.6
H57	4.9	0.2	5.2	5.5	0.2	5.8	0.6	0.0	0.6
H58	4.9	0.1	5.1	5.4	0.1	5.6	0.5	0.0	0.5
H59	3.2	0.0	3.2	4.1	0.1	4.2	0.9	0.0	1.0
H60	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
H61	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H62	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	130.0	35.9	165.9	149.6	40.0	189.6	19.6	4.2	23.7

※ 端数調整(四捨五入)のため、合計、差し引きが表示と合わない場合があります。

4-(3) 桑名市総合医療センターの収支に関する試算 (平成27年度見込に基づく平成36年度までの推計)



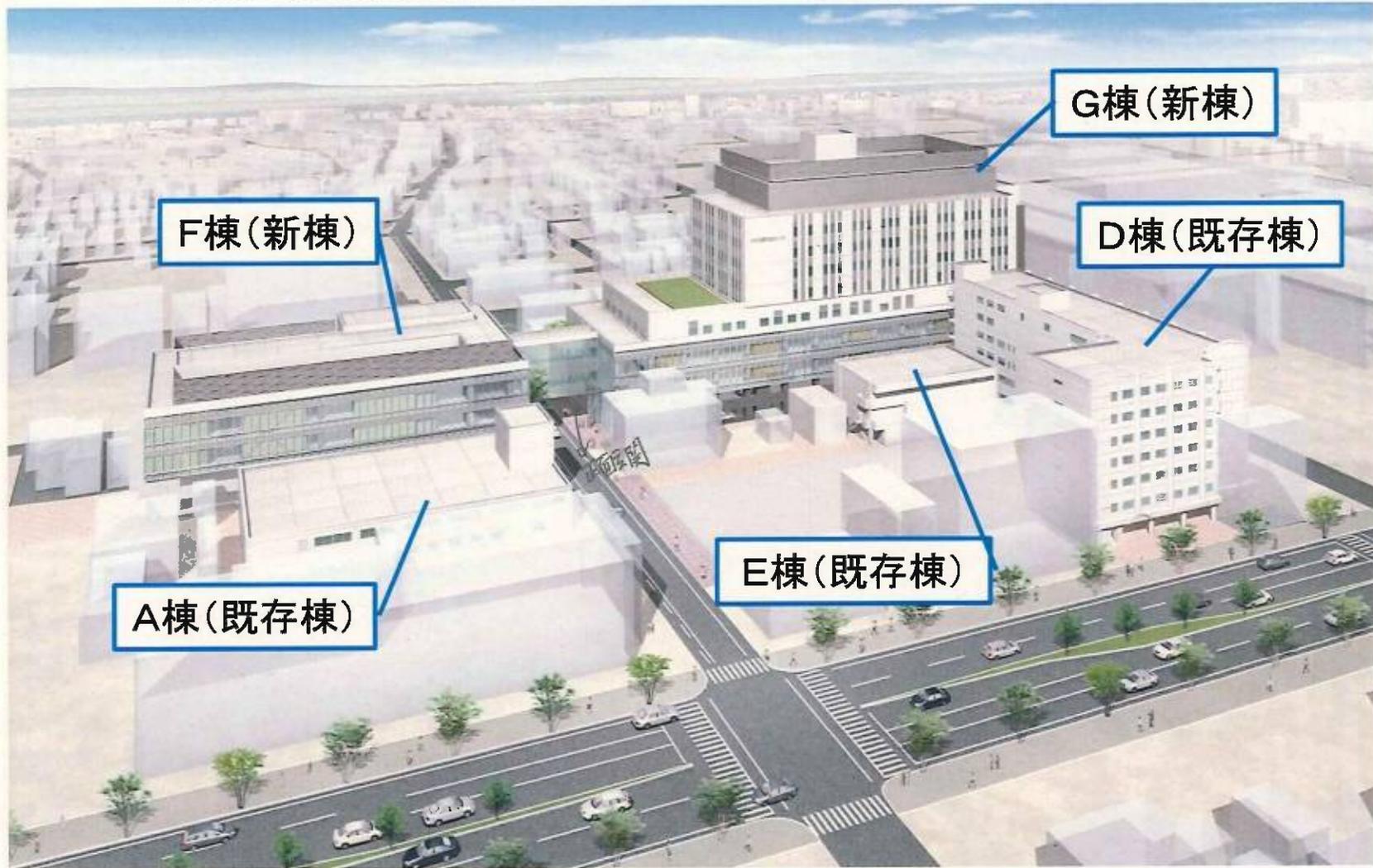
4-4) 収支試算のマイナス期間に対する取り組み

○総合医療センター

- ① 診療科毎に理事長がヒアリングを実施し、診療収益を確保するための目標設定を行う。
- ② 診療材料の仕入単価を下げる取り組みを実施。三重県全体の診療材料の仕入単価の減
- ③ 専門医の招へいの取り組みを実施。

・総務看護部長

新病院の完成イメージ図 (平成30年4月開院予定)



圖一ノ入氣宗の宗廟様
(宝子宗開月A年08乙平)

